降誕前第9主日/広島西分区交換講壇

主日礼拝

2025年10月26日

午前 10 時 30 分

前奏 「おゝ神よ,慈しみ深き神よ」

(M.レーガー)

No. 43

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

そして更に言われた。「安息日は、人のために定められた。人が安息日のためにあるのではない。

(マルコによる福音書 2:27)

頌栄 27 「父・子・聖霊」





交読詩編 32 編

司式者:いかに幸いなことでしょう

会 衆: 背きを赦され、罪を覆っていただいた者は。

司式者:いかに幸いなことでしょう

会 衆:主に答を数えられず、心に、歎きのない人は。

司式者:わたしは黙し続けて

会 衆:絶え間ない呻きに骨まで朽ち果てました。

司式者:御手は昼も夜もわたしの上に重く

会 衆:わたしの力は

夏の日照りにあって衰え果てました。

司式者:わたしは罪をあなたに示し

会 衆: 咎を隠しませんでした。

司式者: わたしは言いました

「主にわたしの背きを告白しよう」と。

会 衆:そのとき、あなたはわたしの罪と過ちを

赦してくださいました。

司式者:あなたの慈しみに生きる人は皆

あなたを見いだしうる間にあなたに祈ります。

会 衆:大水が溢れ流れるときにも

その人に及ぶことは決してありません。

司式者:あなたはわたしの隠れが。

会 衆:苦難から守ってくださる方。

一 同:救いの喜びをもって

わたしを囲んでくださる方。

司式者:わたしはあなたを目覚めさせ

行くべき道を教えよう。

会 衆:あなたの上に目を注ぎ、勧めを与えよう。

司式者:分別のない馬やらばのようにふるまうな。

それはくつわと手綱で動きを抑えねばならない。

会衆:そのようなものをあなたに近づけるな。

司式者:神に逆らう者は悩みが多く

会 衆:主に信頼する者は慈しみに囲まれる。

一 同:神に従う人よ、主によって喜び躍れ。

すべて心の正しい人よ、喜びの声をあげよ。

賛美 12-1,4「とうときわが神よ」



祈祷

金塘

主の祈り

天にまします我らの父よ、

ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。

み国を来らせたまえ。

みこころの天になるごとく

地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、

我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、

悪より救い出したまえ。

国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの

なればなり。

アーメン。

賛美 32「キリエ・エレイソン」



キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン 上。 よ。 あわれみを きよ、あわれみを きよ、あわれみを

聖書 ヨハネによる福音書 5:1~16

新約(新共同訳)P171~P172

1 その後、ユダヤ人の祭りがあったので、イエスはエ ルサレムに上られた。2 エルサレムには羊の門の傍ら に、ヘブライ語で「ベトザタ」と呼ばれる池があり、 そこには五つの回廊があった。3a この回廊には、病気 の人、目の見えない人、足の不自由な人、体の麻痺し た人などが、大勢横たわっていた。3b-4 † 5 さて、そ こに三十八年も病気で苦しんでいる人がいた。6 イエ スは、その人が横たわっているのを見、また、もう長 い間病気であるのを知って、「良くなりたいか」と言 われた。7病人は答えた。「主よ、水が動くとき、わ たしを池の中に入れてくれる人がいないのです。わた しが行くうちに、ほかの人が先に降りて行くので す。」8イエスは言われた。「起き上がりなさい。床 を担いで歩きなさい。」9 すると、その人はすぐに良 くなって、床を担いで歩きだした。その日は安息日で あった。10 そこで、ユダヤ人たちは病気をいやしてい ただいた人に言った。「今日は安息日だ。だから床を 担ぐことは、律法で許されていない。 111 しかし、そ の人は、「わたしをいやしてくださった方が、『床を 担いで歩きなさい』と言われたのです」と答えた。 12 彼らは、「お前に『床を担いで歩きなさい』と言っ たのはだれだ」と尋ねた。13 しかし、病気をいやして いただいた人は、それがだれであるか知らなかった。 イエスは、群衆がそこにいる間に、立ち去られたから である。14 その後、イエスは、神殿の境内でこの人に 出会って言われた。「あなたは良くなったのだ。も う、罪を犯してはいけない。さもないと、もっと悪い ことが起こるかもしれない。」15 この人は立ち去っ て、自分をいやしたのはイエスだと、ユダヤ人たちに 知らせた。16 そのために、ユダヤ人たちはイエスを迫 害し始めた。イエスが、安息日にこのようなことをし ておられたからである。

賛美 527「み神のみわざは」



- 1 み輪のみわざは すべて正しい。 み心のままに だがいゆこう。 主こそはわが神、悩みのときの 私の助け。
- 2 み奲のみわざは すべて荒しい。 私の悩みと 病をいやし、 私をかえりみ、み心にとめ なぐさめられる。
- 3 み輪のみわざは すべてごしい。 飲むべき杯 苦いとしても ためらうことなく 主より受ければ よろこびとなる。
- 4 み輪のみわざは すべてだしい。 **** しみと死との あらし吹いても 主は交のように、み腕に抱いて 私を守る。

説教「主がくださる真のいやし」

賛美 354「天の神、祈ります」



1 天の神、祈ります、あわれみと祝福を。 2 赦い主、み字イェスよ、十字架と復活の その民をひとつとし、愛される み神よ。 み魚みに感謝して、歌います、わが羊よ。

派遣

司式者 主は言われます。

「わたしは誰を遣わすべきか。」

会 衆 わたしがここにおります。 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



後奏 「み神のみわざはすべて正しい(讃:527)」 (M.レーガー)

司 式:金田 文雄

説 教:吉丸 初美牧師

(広島西部教会)

奏 楽:玉理 照子

※お立ちになるのが困難な方は、座ったままで礼拝をお守り下さい。